

平成21年度～23年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.54 公共下水道整備・改築事業 2/3 (管渠改築工事)			担当課	下水道課		予算費目名	款	項	目	
								01	01	02	
事業概要 及び目的	袖ヶ浦地区の汚水管渠は整備後、40年以上経過している。管渠の耐用年数は50年であることから、現状を把握し、管渠が適正に機能するように計画的な改築・修繕を実施していく。 汚水ポンプ場の施設が老朽化しているため、ライフサイクルコストを考慮した長寿命化計画を策定し、計画的な改築を実施していく。			成果指標	汚水管渠、汚水ポンプ場の改築・修繕を要する施設量	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
					計画値	汚水管渠の改築・修繕 延長1.2km 汚水ポンプ場の改築1箇所	予算額(単位:円)	24,000,000	19,000,000	79,500,000	114,000,000
							決算額(単位:円)	19,930,950	13,179,000	64,500,000	
							従事職員数	4人	6人		
事業の 位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き 計画的な改築・修繕により、下水道施設の機能維持・充実を図る。	従事延べ日数	104日	156日				
	節	3	快適な生活環境の創造		民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし					
	項	1	都市基盤の整備・充実			相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等					
	号	4	下水道施設の充実:			形態は? :					

2. 進捗状況

				平成21年7月21日記入					平成22年6月2日記入					平成23年4月19日記入		
年度	21年度評価(20年度実施した事項についての評価)				22年度評価(21年度実施した事項についての評価)				23年度評価(22年度実施した事項についての評価)							
実施計画上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	整備	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由		
完了した事項	・汚水管渠調査 ・袖ヶ浦地区汚水管渠改築・修繕実施計画策定				・袖ヶ浦団地管渠改築等実施設計業務委託 ・秋津汚水中継ポンプ場再構築基本設計(長寿命化計画)業務委託 ・津田沼処理区管渠再構築基本設計(長寿命化計画)業務委託				・秋津汚水中継ポンプ場再構築基本設計(長寿命化計画)業務委託 ・津田沼処理区管渠再構築基本設計(長寿命化計画)業務委託							
継続している 事項	・				・				・袖ヶ浦6丁目管内管渠改築工事(工期延期) ・津田沼浄化センター再構築基本設計(長寿命化計画及び耐震実施計画)業務委託 ・公共下水道管路施設再構築基本設計(アセットマネジメント手法活用実施計画)業務委託							
未着手事項	・				・				・							
改善案	成果指標 実績値 管渠 — 達成率 0% ポンプ場 — 0%				平成21年度に実施した汚水ポンプ場及び管渠の基本設計をもとに、長寿命化計画を策定し、計画的な改築・修繕工事を進める。				成果指標 実績値 管渠 — 達成率 0% ポンプ場 — 0%				平成22年度に実施した秋津汚水ポンプ場再構築の基本設計を基に実施設計を行い、計画的な改築・修繕工事を進める。			
	管渠 — 0% ポンプ場 — 0%				管渠 — 0% ポンプ場 — 0%				管渠 — 5% ポンプ場 — 5%							

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。				平成21年7月21日協議実施								平成22年6月4日協議実施								平成23年4月22日協議実施														
今後の方向性	*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	拡充							○	成果の方向性	拡充								○	成果の方向性	拡充														
			現状維持									現状維持										○	現状維持													
			縮小								縮小											縮小														
			休廃止								休廃止											休廃止														
		休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性																										
		★上記を選択した根拠 22年度以降は改築工事を予定しているためコスト、成果ともに拡充する。				★上記を選択した根拠 袖ヶ浦地区は改築工事を推進し、汚水ポンプ場等は長寿命化計画を策定し、計画的な改築を行うため、コスト・成果ともに拡充する。				★上記を選択した根拠 袖ヶ浦地区の管渠改築と津田沼処理区管渠再構築基本設計は震災のため改築工事を休止するのでコスト・成果とも現状維持とする。																										
方向性を実現するため実施すること(改革案)	改築・修繕工事の実施設計を行うにあたり、経済的な工法を選定し、コスト縮減を図る。				改築・修繕工事の実施設計を行うにあたり、経済的な工法を選定し、コスト縮減を図る。				改築・修繕工事の実施設計を行うにあたり、経済的な工法を選定し、コスト縮減を図る。																											
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 汚水管調査を実施した。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。																											